

♪ようこそ！吉野熊野国立公園へ♪

5月前半に宇久井半島で見られるなかまたち！



「オヘビイチゴ バラ科」
葉は根元が5枚の小葉、上にいくと1～3枚という特徴をもつ。茎を縦に伸ばして花を咲かせる。



「タブノキ クスノキ科」
常緑高木。両性の小さい花を咲かせる。8～9月に熟す実は同じクスノキ科のアボカドに近い味。



「ネズミモチ モクセイ科」
暖地の山地に生える常緑小高木。新しい枝先に真っ白の花の塊をつけるので遠目にもよく目立つ。



☆「カナメモチ バラ科」☆
庭木や生け垣に利用されることが多い。紅色の葉は新芽で、成長すると緑色に変わる。



「ベニシダ オシダ科」
葉の裏の胞子嚢群を包む包膜の紅色が特徴。包膜は後に褐色になるので紅色はこの時期に限られる。



☆「ホウロクイチゴ バラ科」☆
つる性の常緑小低木。花の大きさ約3cm。葉の付け根に下向きの花をつける為あまり目立たない。



☆「ユウゲショウ アカバナ科」☆
北アメリカ原産で観賞用として渡来。花は1～1.5cm。夕方に開花するが昼間も咲き残る。



「スイカズラ ツツジ科」
半落葉つる性の木本。花は約4cm。枝先に2個ずつ花をつける。花の色は白色から黄色に変わる。



☆「オオシマザクラ バラ科」☆
1cmの実をつけている。少し甘みを感じるが完熟するまではえぐみがある。鳥たちは好んで食べる。

☆印はビジターセンター周辺でも咲いているので、車イスで見に行くこともできます。

初夏を感じさせる園地内は新緑がとてもまぶしく、さわやかです♪
たくさんの生き物の活発な様子を観察しにお越しください！

※ごみは持ち帰りましょう！
※畑に無断で入らないようにしましょう！
※植物や生き物を大切にしましょう！

2026年5月前半号
宇久井ビジターセンター



